

## 今月の「一読あれ」

# いつも心に音楽を～新しい音楽を知る本特集

秋といえば「〇〇の秋」。今月の『一読あれ』は「芸術の秋」にちなんで、音楽がテーマです。楽しいとき、元気のないとき、集中したいとき、それぞれの心境で聴きたい曲や歌も変わってくると思います。音楽はジャンルもPOPからヒップホップ、クラシックにジャズ、ロックと多彩。その色とりどりの魅力的な世界を、本からもものぞいてみませんか。

『羊と鋼の森』 宮下奈都著 913.6/Mi83 2F和図書B

高2のある日、主人公・外村はピアノの調律師と出会い、調律の世界に足を踏み入れることとなります。ピアノの音を、外側からではなくその内側から聴くような感覚にさせられる小説。

『ぼくがバイオリンを弾く理由（ワケ）』 西村すぐり著 913.6/N84 2F和図書B

コンクールで本選に残れず、絶望した主人公はバイオリンをやめる決意をした。しかし一枚の楽譜と出会ったことで運命は変わっていく、少年バイオリニストの成長物語。

『オーケストラの経営学』 大木裕子著 764.3/O51 2F和図書B

オーケストラの組織運営はどんなふうになり立っているの？楽団員のお給料は？指揮者のタイプ別に見るリーダーの姿とは？優雅に音楽を奏でるオーケストラの秘密を、経営学の視点でつづる本。

『ロックの闘い：1965-1985』 サエキけんぞう著 764.7/Sa14 2F和図書B

若者の大量消費文化として登場したロックの年代記。時代の鍵となるアルバムも紹介しています。

『クラシック・ゴシップ!』 上原章江著 762.8/U36 2F和図書B

名曲を残した有名な作曲家たちの、人間として、男としての魅力について面白く描かれています。

『音楽は自由にする』 坂本龍一著 764.7/Sa32 2F和図書B

4、5歳で初めて作曲したときの記憶。学生時代。ポップミュージックについて思うこと…。作曲家であり、元「YMO」メンバーでもある著者が自分の歩みを振り返った本。

『すべてのJ・POPはパクリである。』 マキタスポーツ著 767.8/Ma37 2F和図書B

ヒット曲にある共通点について分析し、音楽論・JPOP論について分かりやすく解説。ヒット曲の法則とは？アイドルや音楽が好きな人にオススメです。

『ユーミンの罪』 酒井順子著 767.8/Sa29 2F小型本

1972年に彗星のごとく現れ、スターダムを駆け上ったユーミン。彼女の歌う数々の名曲に救われたという人も多い反面、ユーミンが世にもたらした「罪」とは。

『ピアニストの脳を科学する：超絶技巧のメカニズム』 古屋晋一著 763.2/F95 2F和図書B

ピアニストの脳と体がどのような働きをしているのか、さまざまな調査と実験で、脳について細かく分析してあります。

『ドビュッシーと歩くパリ』 中井正子著 782.35/N34 2F和図書B

作曲家ドビュッシーが生涯愛した美しいパリ。カラー写真とCDで彼の人生と音楽をたどりながら、パリを散歩しているような気分させてくれます。

**3F中央ホールで展示中！  
貸出できます**